



速報！県大会でも金賞

豊丘中か、吹奏楽二ンクール地区大会で金賞に輝き、さらに、八月六日に伊那市で開催された県大会でも、再び金賞に輝きました。おめでとうございます。

すべての人の
おかげです

卷之三

私達豊丘中学校吹奏楽部
は、七月二十一日に飯田市文化会館で行なわれた吹奏樂コンクール南信地区大会に出場しました。B編成の部に出場しました。当日までの練習では、一人一人が出来ていないところが多く、先生にいふ。「個人練習やパート練習が甘い。」と言われる事が多くあります。また、部員が自分の事より他の人やパートのミスを気にするようになり、

に話題になつたUFOに似ていませんか。でも、もう一度写真をよく見ていただけますか。写真では分かりませんが、英語NO.86089等の文字が刻印されています。どうも宇宙の果ての惑星から来た物で、はるばるやって来た物ではないです。

うな顔をしているばかりです。同じ部分の外側に、さきの数字の二倍程の大きさで、かくはん 10° 、 20° 、おん 40° ～ 80° の文字もつかりました。

英Pはイギリスの番号で、球とお湯を入れて三十二回まわすことにより、ワイヤツ等の薄い衣類を洗つたようです。形状は違いますが、現在も工コ



これ何でしょう？

商品として販売されています。

村民広場『今思うこと』

ローカル・アイデンティティと地域再生

今回の執筆者は、北村の田中雅孝さんです。現代はまさに激動の時代で、その時代の荒波にどう対処したらよいのか、どなたも迷う機会が多いのではないかと推察いたします。田中さんの提言は、激動の時代に生きるか、貴重な示唆を与えてくれます。

本番前のみんなの引きしまして、た顔を見てとてもうれしく思いました。

本番のステージでは、少のミスはありました。今まで力を入れて練習を重ねてきた表現をあの広いホールで響かせることができ

山下正

私は一九六〇年を過ごすと地域再生

一九五七年生まれ
〇年代から高度
時代に村で少年時
し、九十年代以降は
農としても歩んで
す。私たち五十歳代
世代はこれから迎

北村

田中雅考

効果に谷間の未来を託す議題となっています。リニア開通による外からの再開発論も近年では盛んでいますが、伊那谷にあっても熾烈なモノバーサル化の荒波は例外ではありません。

「地域再生」については、早くからポスト工業化段階を迎えたヨーロッパが先行しています。産業構造の転換を促すインフラ整備や環境の保護とともに、地

スで掲載されるなど、今
齢者にとって人気生涯
ボーツの筆頭だと言つて
過言ではないでしょう。
の理由はマレット歩行が
齢者の健康作りに最適で
仲間達との楽しい四方山
でストレス解消又それな
に技術を競い合うからボ
てはいられない、さらに
金がかからないし好きな
間に一人でも楽しめるか
です。そしてクラブなど

たら悔いは無いでしょう。
アカシヤマレットの会員数は現在六十名です。が豊丘村民会員は僅か三十名なのです。最近は月例会等

プレーする人で連日賑わう

マレットは最高

—アカシヤマレットクラブ

は豊丘公民館活動の一環で
すから、クラブ員は村民で
構成されることが望ましい
と考えますので皆さんのご
支援を得て、本来あるべき
クラブにしたいと願っています。
そこで初心者大歓迎です。
又は躊躇している方「いつ
やるの? 今でしょう!」の
大募集中。クラブ仲間が親
切に教えます。早速公民館
へヨ。

域文化ないしローカル・イデントティ（地域の個性）の構築に多大な努力を投する」とことで、市民の地域へ帰属意識を高め、「地域再生事業に寄与してきました（大社研「希望学2・希望再生～金石の歴史と産業語るもの」）を参照）。

地域の「希望」となる口から、アーティスト・建築の基盤となるものは何でしょうか。それは何より地域住民の対話やネットワークの形成を促す人の交流がかなりません。その対話には地域内外の人々との交流も含まれます。新しい民館の建設が始まっていますが、私は公民館がそうした人的交流の根拠地となる

とを期待しています。した対話の私の考える五つのテーマを以下に掲げておきます。
①心安らぐ農村
観の保全
②未来への
希望となる
教育を住民
共同で進め
る。③生き
づらさを抱
えた人々や
高齢者と共に
生していく
地域福祉の
発展。④地
域の個性を
探究する精
神豊かな
地域文化創
造人々の

